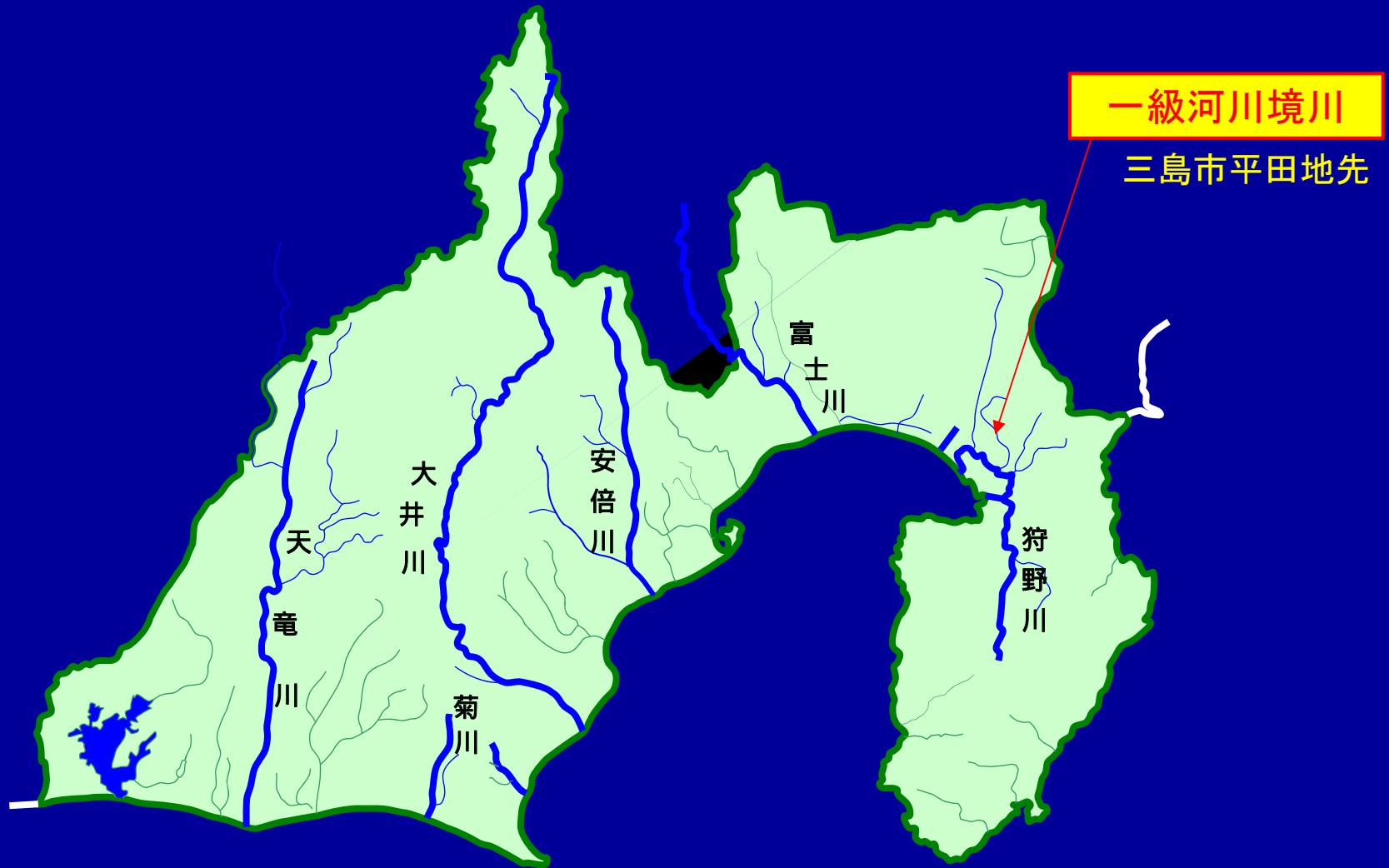


平成27年度
公共事業再評価

総合流域防災事業
一級河川境川

事業評価実施箇所 位置図

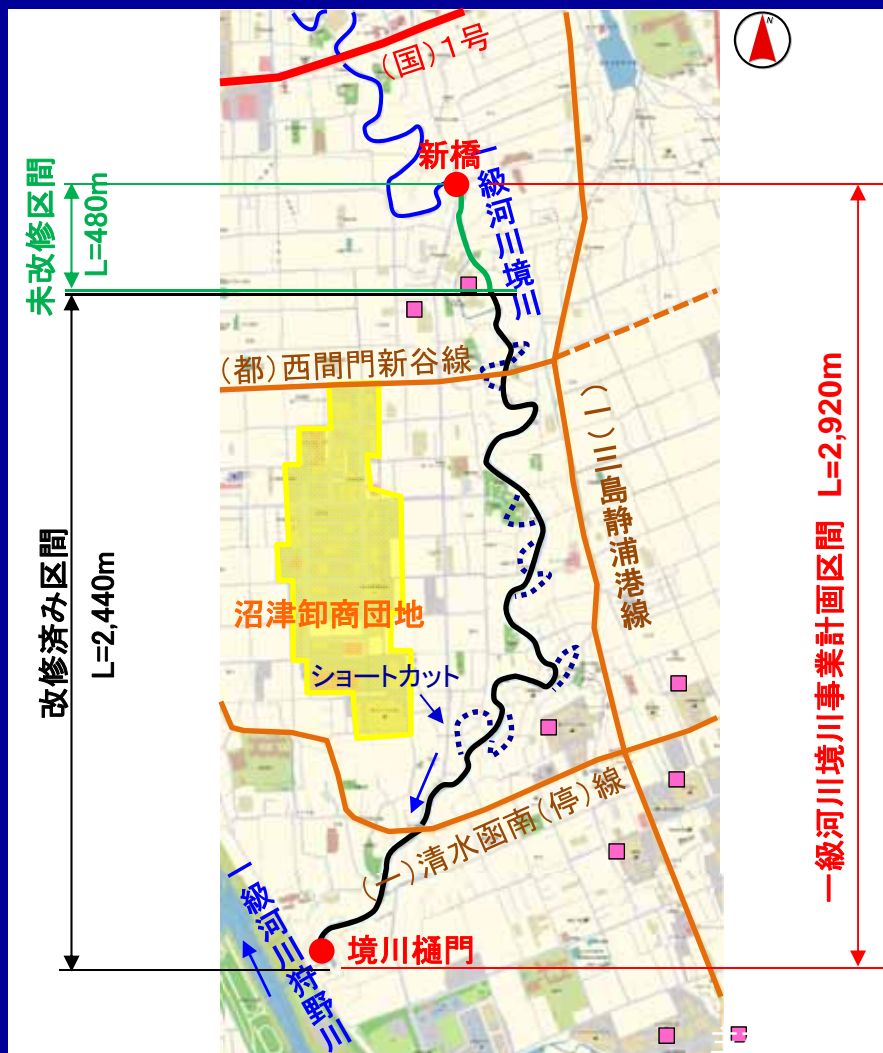


1. 事業概要



- 主要河川
- 高速道路
- 国道
- 周辺の主要道路
- 特徴的な土地利用
- 市街化調整区域 (三島市・清水町)

1. 事業概要



<事業概要>

事業期間 昭和48年度～平成36年度

総事業費 37億4900万円

投資状況 26億7500万円(71%)

改修延長 $L=2,920\text{m}$

- 狭小な河川断面を拡大
- 屈曲部の解消(ショートカット)

2. 浸水実績



H26.10 床下浸水6戸

H26.10 新橋付近道路冠水

平成26年台風18号による浸水状況(新橋付近)



発生区分	年月日	浸水原因	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)
屈曲部・上流部	S49.7	溢水・内水	39	90
	S57.8	内水	2	14
	H1.7	内水	15	36
	H2.9	内水	18	62
	H14.10	内水	5	16
	H15.7	溢水		1
	H15.8	溢水		1
	H19.9	溢水	2	16
上流部	H20.7	内水		1
	H26.10	内水		6

2. 現在の取り組み(進捗状況)

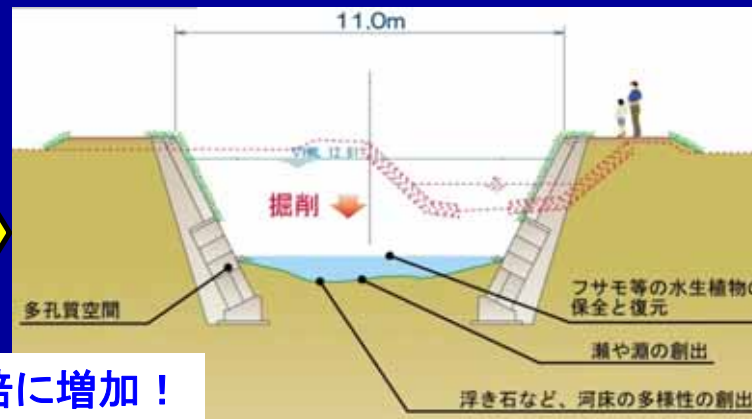


未改修区間



改修済区間

事業区間延長 L=2,920m(改修済み延長 L=2,440m、未改修延長 L=480m)
進捗率84%、用地は約92%取得予定。



断面積が約3倍に増加!

3. 事業を巡る社会情勢等の変化



①沼津卸商団地



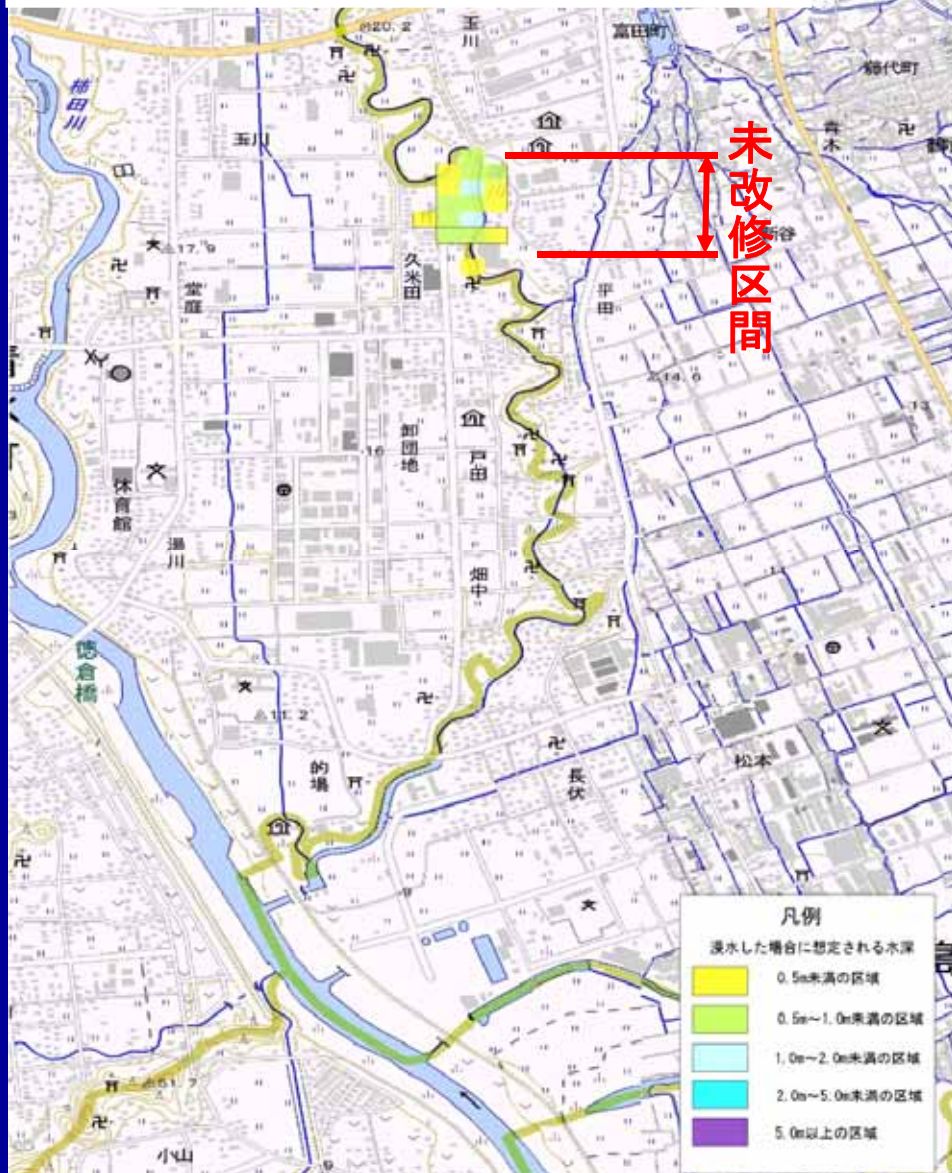
②宅地と大規模工場

田畑が宅地や工場に転換されている。

平成17年以降、宅地が約3.6ha、工場用地が約22.6ha増加

4. 費用対効果

1/20確率降雨時の浸水範囲と浸水深



改修により1/20確率降雨時に発生が想定されている浸水被害は解消される

1/20確率降雨時の浸水被害

最大浸水深 約1.2m

浸水面積計 3.76ha

左岸(三島市) 0.88ha

右岸(清水町) 2.87ha

家屋被害計 38戸

床上浸水 19戸

床下浸水 19戸

(H27改修終了時点)

4. 費用対効果

総便益 = 3,501百万円

・被害軽減期待額 3,418 百万円

・施設残存価値 83 百万円

総費用(C) = 1,383百万円

・事業費 965 百万円

・維持管理費 418 百万円

平成27年度換算価値

費用対効果(B/C) = 2.53

5. 今後の展望

- 著しい屈曲部の改修を下流より順次実施し、今年度より最後の屈曲箇所に着手する。
- 屈曲部の改修では事業用地を交換により取得することや、発生土を近隣の公共事業に利用することでコスト縮減を図る。

6. 対応方針案

- 事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められ、地域住民の改修への期待は非常に大きい。
- 浸水被害を解消するため事業継続とする。